

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 工房・虹と夢

1 事業の成果

2019年度の虹の活動は、これまでの実績をベースに新たな可能性に挑戦した一年でもありました。これまで以上にオリジナル商品の開発に努力しながら、他者との提携による事業の多様化にも力を入れてきました。それは、モットーである「地域の中にある、地域に開かれた障がい者の事業所」を、事業活動としても具体化することでもありました。

この取り組みは、スタッフひとり一人の製品開発力を高め、チーム全体として新製品の開発や販売方法などの改善をめざすことにつながりました。さらに、ひとり一人の資質向上の努力や、他の事業所との連携強化は製品の品質向上や商品表示のあり方などでも一定の成果を上げ始めています。

しかし、昨年末から猛威をふるいはじめた新型コロナウイルスは、3月には全国に先駆けて北海道で「緊急事態宣言」が出されるなど感染の拡大が続いてきました。このコロナ禍によって活動の自粛や休業を余儀なくされた企業や団体も多く、市民生活は大きな影響を受けています。虹と夢も1月以降は販売の機会や場所がほぼ皆無となるなど、これまで経験したことのない厳しい状況の下にあります。

地域との繋がりを大切にしながら活動してきた工房・虹と夢ですが、感染力の強いコロナウイルス対策に当たっては、何よりも利用者の安心・安全を第一に考えながら工房運営にあたっています。出勤する前の体温測定、工房内ではマスクの着用や消毒の徹底など、利用者・保護者の協力をいただきながら感染予防のための対策に万全を期しています。

障がい者の自立支援に関する事業

工房・虹と夢は、ひとり一人に対する支援計画と、それに基づいた日常の作業指導・内容を現実にあつた形で組み立ててきました。また、利用者それぞれの障がい特性に応じた選択肢や可能性を広げる取り組みを通じ、工房の一員であるとの自覚を共有できるよう努力してきました。虹と夢の活動を地域に広げる一環として、地域の様々な人々、団体と協力しながら〈めぐる市〉や〈パン&スイーツまつり〉〈おてらんど〉など、各種の催し物に参加してきました。7月には、第20回虹と夢まつりを開催。10月には李政美コンサートを開き、翌日には、高齢者の介護施設・みのり湯川でもミニコンサートを開かせていただきました。いずれも、虹と夢の活動への理解を深めていただく機会として大きな役割を果たしています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
障害者の自立支援に関する事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス 就労継続支援B型を行った	通年	函館市 工房・虹と夢	6名	実利用者 25名	31,496 千円
研修・啓発に関する事業	①養護学校や地域の相談支援センターなどからの実修生・見学者、就労体験者の受け入れ ②会報などを通じた広報活動『虹メール』年4回発行 ③虹と夢まつりの開催	①通年 ②4月7月 11月3月 ③7月14日	函館市 工房・虹と夢	6名	①各学校・センター利用者約50名 ②後援会員約200名 ③日乃出町工房近隣の市民約300名	211千円

(2) その他の事業

実施しなかった